



宮城県 仙台向山高等学校

■ 理数科 ■ 普通科

令和2年度
学校案内

HP : <https://mukaiyama.myswan.ed.jp>

仙台市太白区八木山緑町 1-1

TEL : 022(262)4130



「自分の夢を向陵でかなえよう」

校長 遊 佐 忠 幸

仙台向山高等学校は、ここ「向陵」の地に昭和50年4月、旧仙台市内の高校進学率の高まりと人口の増加に対応するため、国立電波高等専門学校の校舎を転用し、市内の県立学校普通科としては初の男女共学、私服で通学できる学校として開校しました。校訓は「自律・和敬」であり、これには「自分の言行に責任を持ち相互の敬愛・協力を惜しまない人間を育成する」との思いが込められています。平成6年には理数科を設置し、現在の卒業生は1万人を超えています。昭和、平成そして令和の時代を経ながら、社会に数多くの有為な人材を輩出し、宮城県における普通科と理数科の教育をリードする学校として着実に歩みを続けています。そして、今年度、令和2年に本校は創立46年目を迎え、5年後には創立50周年記念式典を挙げる予定です。本校は昨年度に引き続き『夢をかなえる学校』を目標に掲げ、「良き伝統」は生かしながらも時代の流れをしっかりと見据え、「全ての取組は向陵生の未来のために」の思いを胸に次の一步を踏み出しています。

本校では、平成11年度からキャリア教育の柱として実施してきた先進的な取組である「向陵プラン」の流れを引き継ぎ、事業内容をバージョンアップした「向陵 Plearning (プラーニング)」により、向陵生一人ひとりの思考力・表現力に磨きをかけています。1年次に「ビブリオバトル」により各自がコミュニケーション能力や表現力を磨き、2年次には全国の高校に先駆けて実施した「アカデミック・インターンシップ」により様々な大学の学部・学科で自分の興味・関心に応じた学びを体験します。また、全学年で行う「向陵オープンセミナー」では、向陵生が取り組んだ研究等を全校生に向けて発表し、レベルの高い内容で相互に意見交換を行うことで、さらに思考力・表現力に磨きをかけています。

長い人生の中で高校での3年間は非常に短い時間です。しかし、とても大切な時期でもあるのです。高い「志」を持つ多くの生徒が集い、その中で勉強と部活動に一生懸命取り組み、互いに切磋琢磨しながら自身を鍛えた経験は、高校卒業後の人生において大きな財産となります。20年後には、今ある職業の半分以上が人工智能に置き換わると言われており、単に大学等の上級学校への進学だけを目標としていては、これから到来するであろう「ソサイアティ5.0」の社会をしっかりと歩んではいけないと思われます。ここ仙台向山高校には、これからの自身の「生き方・在り方」を考えさせ、夢をかなえようと努力し続ける生徒の皆さんをサポートする「向陵 Plearning」と素晴らしい学習環境があります。

仙台市内を一望できる自然豊かな向陵の地で自身を磨き、そして皆さんの「夢」をぜひかなえてください。

教 育 目 標

- 1 「自律・和敬」の精神を重んじ、個性と創造性の豊かな人間を育てる。
- 2 意欲的に学習する習慣を養い、知性と教養の豊かな人間を育てる。
- 3 自己の言動に責任をもち、他を思いやり協力する心の豊かな人間を育てる。
- 4 心と体の健康を増進し、たくましく生き抜く実践力の豊かな人間を育てる。



普通科・理数科を併置

本校には普通科，理数科の2つの学科が併置されています。学科の違いは学習する内容の教科・科目の違いで，普通科に比べ理数科では名前のとおり理科，数学の学習がより深まるよう設計されています。掲載されている教育課程表で普通科，理数科の色の違いを見てください。

理数科には2年生で「課題研究」という科目があることが，理数科の一番の特色です。これはグループごとに研究テーマを設定し，自分たちで研究計画を立て，それに基づいて研究活動を進めていく科目です。いわゆる「探究活動」と呼ばれる学習で，理数科にかかわらず，これからの高校教育全般の核となっていく活動です。

また，普通科では2年生から文系・理系に分かれ，進学した大学での基礎学力となるよう，進路希望を核とした学習をしていきます。入学後1年生の夏休みまでに文系・理系それぞれの教科科目の選択をします。普通科文系・普通科理系・理数科それぞれの学習する教科・科目については，別表の「令和3年度入学生教育課程表」をみると，その違いがはっきりとわかります。

仙台向山高校では，学科や学年の違いによって，生徒会活動や部活動などの学校全体の活動に制限が生じないように，普通科，理数科ともに同じ単位数になるように組まれています。具体的には月曜日，火曜日，水曜日は7時間授業。木曜日，金曜日は6時間授業で，いずれもすべて50分授業となっています。これは，授業時数を確保しながら，生徒会活動や部活動にも時間が充てられるよう，バランスを重視した日課としているからです。

学科相互の豊かな学び

このように仙台向山高校には，普通科文系・普通科理系・理数科があり，生徒たちは様々な学習形態で高校生活を過ごしていますが，学校行事や生徒会活動をはじめ，もちろん部活動においても学科の垣根はなく，のびのびと高校生活を送っています。各活動の場面では生徒たちの様々な発想がお互いを触発し，それがまた豊かな発想を生むような場面も多く，そこには学科相互の豊かな学びやコミュニケーションがあります。

また，11月に行われる「向陵オープンセミナー」では，普通科のアカデミック・インターンシップの発表とともに，理数科の課題研究の発表が行われ，とくに理数科の学習内容に普通科の生徒たちが興味深く質問をする場面などからも，学科同士の豊かな学びを見ることができます。

高校教育の核となる探究活動

令和4年度から施行される予定の新しい高等学校学習指導要領では，高校教育全体に探究活動を核とした教育を行うことが明らかになっています。探究活動は生徒たちが自らの興味関心を広げ，深めながら主体的に学習に取り組む学習形態です。

本校では平成6年度に宮城県の高専として2番目となる理数科を設置し，理数科の中心科目として「課題研究」に取り組み，さまざまな成果を上げてきました。この「課題研究」の手法こそが，これからの探究活動の手法を支えるものとなります。県内では早くからこの「課題研究」に取り組んできた成果が，これからの本校の探究活動の推進役として大きな力を発揮すると考えています。

令和3年度入学生 教育課程表

単位	普通科						理数科						単位
	1年		2年		3年		1年		2年		3年		
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
1	国語総合 (5)						国語総合 (4)						1
2	現代文B (2)						現代文B (2)						2
3	古典B (3)		古典B (2)		古典B (3)		古典B (2)		古典B (2)		古典B (2)		3
4	日本史A (2)		日本史B (2)		日本史B (3)		日本史B (3)		世界史A (2)		地理B (2)		4
5	世界史A (2)		世界史B (2)		世界史B (3)		世界史B (3)		地理B (2)		地理B (2)		5
6	世界史B (2)		現代社会 (2)		現代社会 (4)		現代社会 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		6
7	政治・経済 (2)		倫理 (2)		倫理 (2)		倫理 (2)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		7
8	数学 I (4)		数学 II (5)		数学 III (6)		数学 III (6)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		8
9	数学 II (5)		数学 III (5)		数学 III (6)		数学 III (6)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		9
10	政治・経済 (2)		倫理 (2)		倫理 (2)		倫理 (2)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		10
11	数学 III (5)		数学 II (2)		数学 II (2)		数学 II (2)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		11
12	化学基礎 (2)		数学 B (2)		数学 B (2)		数学 B (2)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		12
13	生物基礎 (2)		数学 B (2)		数学 B (2)		数学 B (2)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		13
14	体育 (3)		物理基礎 (2)		物理 (6)		物理 (6)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		14
15	保健 (1)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		15
16	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		16
17	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		17
18	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		18
19	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		19
20	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		20
21	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		21
22	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		22
23	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		23
24	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		24
25	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		25
26	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		26
27	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		27
28	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		28
29	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		29
30	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		30
31	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		31
32	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		32
33	音楽 I (2)		化学 (2)		化学 (4)		化学 (4)		現代社会 (2)		現代社会 (2)		33

*は学校設定科目

未来を拓く「向陵 Plearning」

本校には「向陵 Plearning」と呼ばれる独自の進路支援プログラムがあります。一昨年までは「向陵プラン」としたこのプログラムの歴史は古く、平成11年度から導入の研究が始まり、平成15年度の学習指導要領の改訂とともに創設された「総合的な学習の時間」を活用する形で始まりました。教科での学習とともに、生徒一人一人を支えながら社会的自立を果たせるよう、大学に進学するための、大学での学びに対する心構えをつくるための、そして社会人として社会生活に対応する力を身につけるための様々な取組が一連のプログラムになっています。

自分と出会い、

1年生のテーマは「自分と出会う」。文字どおり自己理解を踏まえた表現力の育成です。主な取組として書評合戦といわれる「ビブリオバトル」を柱に、表現する材料の蓄積を意図しています。また、「オータムセミナー」と呼ばれる社会人講話では、社会人の達人たちが職業生活を送る上での楽しさや苦勞を伝えてくれます。さらに、関心のある分野の新書を読み、自身が紹介する「ブックトーク」活動を通し、社会への興味・関心を広げる機会になります。

学問と出会い、

2年生のテーマは「学問と出会う」。大学での学びがどのようなものなのか、大学の研究室での体験から進路を考える「アカデミック・インターンシップ」を経験します。この取組は「向陵 Plearning」の核となる重要な位置づけとしており、高校生活の折り返し地点で、真剣に自分の進路と向き合う機会となっています。また、秋には「向陵セミナー」として、大学の先生方による分野別の出張講義があります。「アカデミック・インターンシップ」で体験した領域を講義として追体験し、さらに自分の興味関心を深めたり、また「アカデミック・インターンシップ」では体験できなかった領域の学問に触れたりする機会にも活用ができます。

そして社会につながる

3年生のテーマは「社会と出会い自分を広げる」。興味関心や適性など、今までに培った自分の進路探究をベースにして、いよいよ進路実現への取組となります。大学で学びたい学問領域の調べ学習をベースとした「サクセスタイム」では、学問領域別にテーマを設定し、グループワークをとおして研究発表を行います。「ケーススタディ」では、実際に志望する学問分野が学べる大学について、様々なケースごとのシミュレーションを踏まえて、自分がどんな大学学部に出願するか、進路の可能性を探ります。大学学部を選択するという事は、そこから社会を見、社会につながる窓口をもつということ。「向陵 Plearning」は社会で生きる自画像を描きながら、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

「向陵オープンセミナー」での豊かな学び

昨年からはまった「向陵オープンセミナー」。「向陵 Plearning」の発表会と、理数科課題研究の発表とを、全校生徒で共有する豊かな学びの時間も創られました。各プレゼンテーションに対して、学年や学科の別なくいろいろな観点からの質問が飛び交い、会場はまさに全校生徒が一体となった知的空間となります。仙台向山高校の「向陵 Plearning」は、学力を支え、進路実現を支え、豊かな人生を創出する、いわば人間の運用力を育成するプログラムといえるでしょう。令和元年度は、11月5日（火）仙台市太白区文化センター楽楽楽ホールで行いました。



1 学年200人の学級規模

一人一人に目が届くきめの細かさ

仙台市内の高校では唯一、1学年200人という全員の顔と名前が覚えられる規模の本校は、それだけでも家庭的で温かな生活を形作る環境にあります。また、先生たちも生徒たちの人間性や個性を見つけやすく、そのきめ細やかで生徒個人に合わせた指導が可能です。学習面での質問のしやすさや生活面での相談のしやすさなどは、本校の学級規模ならではの大きな利点といえるでしょう。さらに、高校の学習の柱となる国語と数学では少人数授業等が行われ、得意な分野を伸ばし、不得意な分野には細やかな手当を可能とする指導が、親密な環境の中から行われています。先生と生徒の距離が近く、また学年全体の一体感が感じられるこの親密さこそが、何よりも生活の安心感や安定感を与えます。

主な学校行事

- 4月・入学式、生徒会入会式、春の中庭コンサート / 5月・生徒会役員選挙、総体壮行式
6月・高校総体 / 7月・体育大会、学校説明会 / 8月・向陵祭
9月・芸術鑑賞会 / 10月・秋の中庭コンサート / 11月・向陵オープンセミナー、2年修学旅行
2月・理数科課題研究発表会、予餞式 / 3月・卒業式



眼下に広がる杜の都

視野を広げ、感性を育む教育環境

「向山高校前」でバスを降り、校舎に到着する階段を登りきって、ふと後ろを振り返ると108万都市仙台の中心部が一望できる絶景が広がっています。林立するビル群と対をなすような深い緑を眼下にもつ仙台向山高校は、教育環境としては絶好のロケーションの中にあります。春には桜の回廊、夏には心安まる緑陰、秋には黄金色のトンネル、冬には透き通るような青空が頭上に広がる校舎に続く坂道は、本校の自然環境の豊かさを象徴しています。そのような自然環境は、「漢文にあるような環境」（校歌作者 片岡良和先生談）とされ、創立以来伸びやかで自由な校風を創り上げてきたといえるでしょう。視野の広さと悠々たる心を育む壮大な環境は、卒業後も生涯を支える心の風景となるはずです。

仙台向山の部活動

高校生活を下支えし、生涯の心の郷となる部活動

本校には生徒たちの生活の支え、心の拠り所となり、また各競技や分野の専門技能を磨く場所として、運動部13、文化部5に加え、愛好会1、特別委員会3があります。放課後には所狭しと各活動が繰り広げられ、青春の輝きを放つ生徒たちの元気な声が聞こえ、はつらつとした姿を見ることができます。

■運動部

陸上競技部、野球部（男子）、水泳部、卓球部、弓道部、剣道部、
ハンドボール部（男子）、テニス部、バドミントン部、バスケットボール部、
バレーボール部、サッカー部（男子）、ソフトボール部（男子）

■文化部

吹奏楽部、自然科学部、写真部、美術部、茶道部

■愛好会

JRC愛好会

■特別委員会

新聞委員会、放送委員会、応援団

〈令和元年度の主な実績〉

- ◆陸上部 女子ハンマー投げ 第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会出場
- ◆弓道部 男子団体 第38回全国高等学校弓道選抜大会第5位
男子個人 第38回全国高等学校弓道選抜大会出場
- ◆水泳部 女子50m自由形 第67回東北高等学校選手権水泳競技大会出場
女子100m、50m自由形 第27回東北高等学校新人水泳競技大会出場
- ◆放送部 朗読部門 第66回NHK杯全国放送コンテスト出場
テレビキャンペーン部門 第23回東北高等学校放送コンテスト出場





校歌

作詞 鎌本武男 作曲 片岡良和

一、うるわしき 陽光をうけて

草もゆる 学びの丘よ

広瀬川 松の樹間に

流れては 豊かにめぐる

身とこころ 珠と育くみ

夢多し 春秋三年

二、へだてなき 恵の露に

花かおる 学びの園よ

蔵王が嶺の 高さを仰ぎ

競い立つ 若人われら

明けわたる 時代を呼びて

翔くるかな 理想の雲根

三、星うつり 人かわるとも

みどり濃き 心の故郷よ

さかんなる 意気をうけつぎ

かがやけり われらが母校

一筋に 若きいのちは

刻むかな 久遠の歴史

